



信州大学教育学部附属長野小学校学校だより

題字：副校長、文責：教頭



学校では、水泳の学習が始まり、子どもたちの歓声が聞こえてきます。今回は6月の初めの副校長講話の様子を中心にお伝えします。今回のお話は、「信濃の国」を巡る講話の第2回、子どもたちの投票の第4位の場所からのライブ中継です。

## 校歌「信濃の国」を巡る

(6月5日 副校長講話)

第2回 ～すわのうみより～



みなさん、おはようございます！今日は、信濃の国巡りの第2回目です。今、私は皆さんに投票してもらった第4位の場所に来ています。それでは、早速発表します。第4位は、じゃかじゃかじゃかじゃかじゃん、ここです(諏訪湖を写す)。皆さん、ここがどこかわかりますか？そうです！♪すわのうみには、うおおおし♪ 諏訪湖です！長野県で最も面積が大きい湖です。とても広いですね！（地図を提示）地図の中では、この場所ですね。さっきね、諏訪湖に着いて岸を歩いていたら、なんか珍しい形をしたものがたくさん落ちているんですね（右写真）。これは何でしょうかね？とんがって、とてもかっこいい形をしています。しかも、こんなにたくさん落ちています。何だろう？



Mさん：それは、ひしの実ですよ。

副校長：へえ、そうなんですか！あっ、みなさんご紹介いたします。長野県水産試験場諏訪支場技師のMさんです。今日は、Mさんに諏訪湖のことを色々教えていただきます。Mさんどうぞよろしくお願い致します。早速ですが、Mさん、どうしてこんなにもたくさんひしの実が岸に落ちているのでしょうか？

Mさん：諏訪湖は10年近く前からヒシという水草がたくさん生えるようになりました。今の諏訪湖を見てもわかるように、水面が見えなくなるくらいに生えています。夏になると緑色の絨毯のようになります。このたくさん生えたヒシによって湖の見た目が悪くなってしまったり、枯れて腐った時に臭いにおいがしたりするなど問題となっています。また、諏訪湖にはそれ以外にもワカサギやコイ、フナなどの魚類やテナガエビなどのエビ類といった様々な生き物が棲んでいて、それを獲る漁師さんもいます。漁師さんが獲った魚やエビは諏訪地域のご飯屋さんや旅館、ホテルで食べることができます。

副校長：なるほど！そういうわけだったのですね！ありがとうございます。先程、諏訪湖には、様々な生き物がすんでいるというお話がありましたが、具体的にはどんな生き物がすんでいるのですか？

Mさん：実は、すぐ近くに長野県水産試験場諏訪支場が隣接しており、そこに諏訪湖の生き物を飼育しているので、そこに行ってみましょう！

副校長：ありがとうございます！どんな生き物がいるか楽しみです！それではMさんよろしくお願ひします！

(歩きながら移動。歩きながら諏訪湖や湖岸の様子を写し、児童に紹介する)

副校長：(スジエビの水槽の前で) いやー、すごいですね。この大きな水槽の中では、何を飼

っているのですか？

Mさん：この水槽ではスジエビを飼育しています。観察しやすいように小さい水槽にご用意しました。水産試験場では今飼育しているスジエビに子どものエビを産ませて、産ませた子どものエビを諏訪湖へ放流しています。

副校長：いやー、きれいなエビですね！他にも生き物は飼っていらっしゃるのでしょうか？

Mさん：この水槽ではテナガエビを飼育しています。テナガエビも観察しやすいように小さい水槽にご用意しました。テナガエビは名前に「テナガ」と付く通り、雄の手がとても長くなっているのが特徴です。テナガエビはスジエビと同じように、子どもを産ませて、その子どもを諏訪湖へ放流しています。また、水産試験場で行っている研究にも使っています。

副校長：とっても手が立派なエビですね。とても透き通っていてきれいです！

Mさん：この他にも、諏訪湖には、コイ、フナ、ウナギなどの生き物が住んでいます。ぜひ、みなさん諏訪湖を訪れてみてください。

副校長：それでは、もっとお話をお聞きしたいところですが、そろそろ終わりの時間になりました。諏訪湖には、スジエビや手長エビなどの生き物がたくさんくらしているんですね。それでは、皆さんで今日諏訪湖のことについて教えていただきましたMさんにお礼のあいさつをしましょう。Mさんありがとうございました！



次回の副校長講話は、第3位の場所から中継します。さて、次回はどこの場所からか、それは「つづく」。来月もお楽しみに！さようなら！

## プール開き

6月9日プール開きが行われました。プール開きを迎えるにあたって、スクールサポートスタッフの三枝さん、4年生から6年生の皆さんが、丹念にプールの環境整備、清掃をしてくれたおかげでこの日を迎えることができました。副校長先生からは、「準備体操」「飛び込まない」「バデューを確認する」ことを大事にして、楽しく安全な水泳学習にしよう、全校児童に向けてお話がありました。水泳学習に向かう児童代表の皆さんの発表を紹介します。

私が大好きな待ちに待ったプールの授業。でも、プールは、いろいろ楽しいこともあるけれど、少しでも危ないことをすると危険です。そして、私は「めあて」をもちながらプールに入りたいと思います。そうすると、プールの授業がより楽しく、危険をさけられるのではないかと思ったからです。私のめあては「みんなが気持ちよくプールに入れるように、走ったり危ないことをしたりしない」というめあてにしました。めあてを持ちながら危険があるということをわすれず、そして楽しいからこそ、危ないことをしないで、楽しいプールの授業ができればいいなあと思っています。これから始まるプールの授業がとっても楽しみです。（4年生 I.N.さん）

全校のみなさん、おはようございます。前期運動委員長のS.R.です。今日は待ちに待ったプール開きですね。この日のためにプール清掃を頑張ってくれた5、6年生のみなさん、プールの環境を整えてくださった先生方、ありがとうございます。ところで、みなさんは水泳の授業は好きですか。中には泳ぎが苦手な人もいるかもしれませんが、何か一つ今年の水泳の授業について自分の目標を決めて取り組んでみたらどうかなと思います。私の今年の目標は、谷浜鍛錬会を楽しく安全に泳ぎ切るために、真剣にプールでも泳ぐことです。6年間泳いできた附属長野小のプールも今年で最後になります。最後の水泳の授業を谷浜鍛錬会に向けてしっかり泳ぎきたいです。全校のみなさん、安全に楽しく水泳の授業を楽しみましょう。（6年生 S.R.さん）